

6 特別支援学校

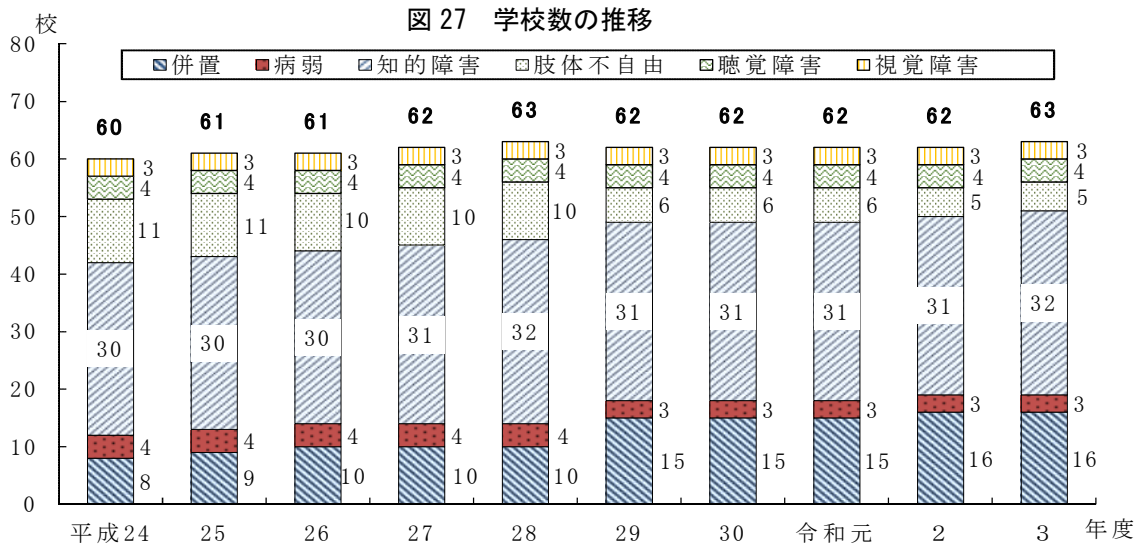
(1) 学校数

学校数は、63校（都立58校、区立5校）で、前年度より1校増加している。

学校数のうち障害種別を複数設置している併置校は16校（肢体不自由・知的障害併置校10校、肢体不自由・病弱併置校4校、視覚障害・知的障害併置校1校、知的障害・病弱併置校1校）となっている。

併置校以外の学校数を障害種別で見ると、視覚障害3校、聴覚障害4校、肢体不自由5校、知的障害32校、病弱3校となっている。

（Ⅲ統計表 第31表）



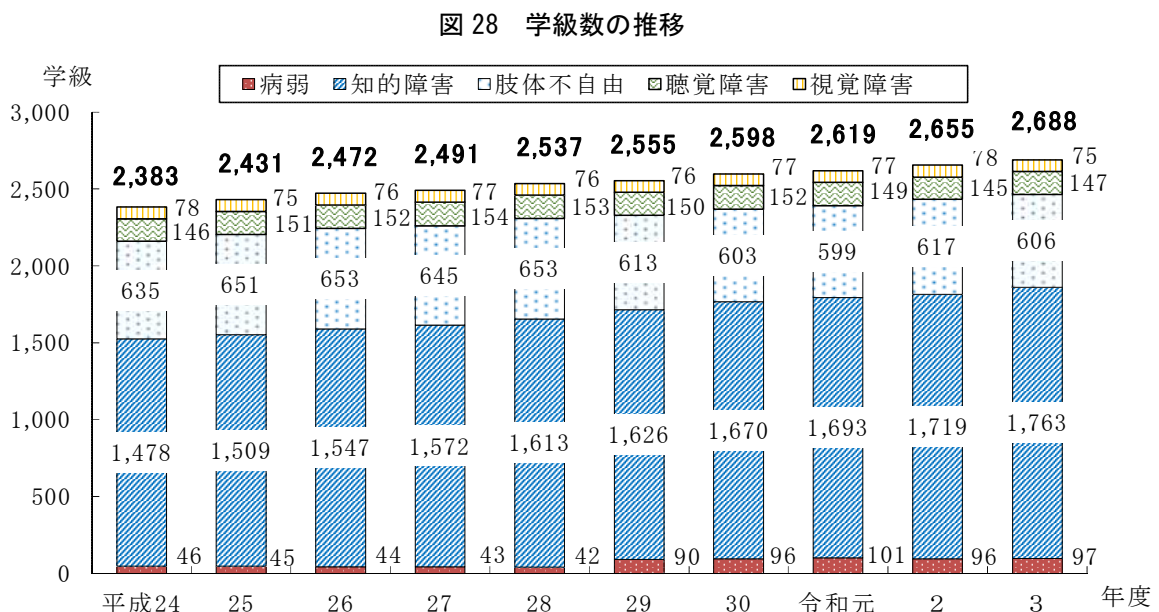
- 注1) 区立5校の障害種別は、肢体不自由1校、知的障害1校、病弱3校となっている。
 注2) 併置校は全て都立である。
 注3) 休校中の学校も含む。

(2) 学級数

学級数は2,688学級で、前年度より33学級増加している。

障害種別で見ると、視覚障害75学級、聴覚障害147学級、肢体不自由606学級（都立593学級、区立13学級）、知的障害1,763学級（都立1,729学級、区立34学級）、病弱97学級（都立86学級、区立11学級）となっている。

（Ⅲ統計表 第31表）



(3) 在学者数

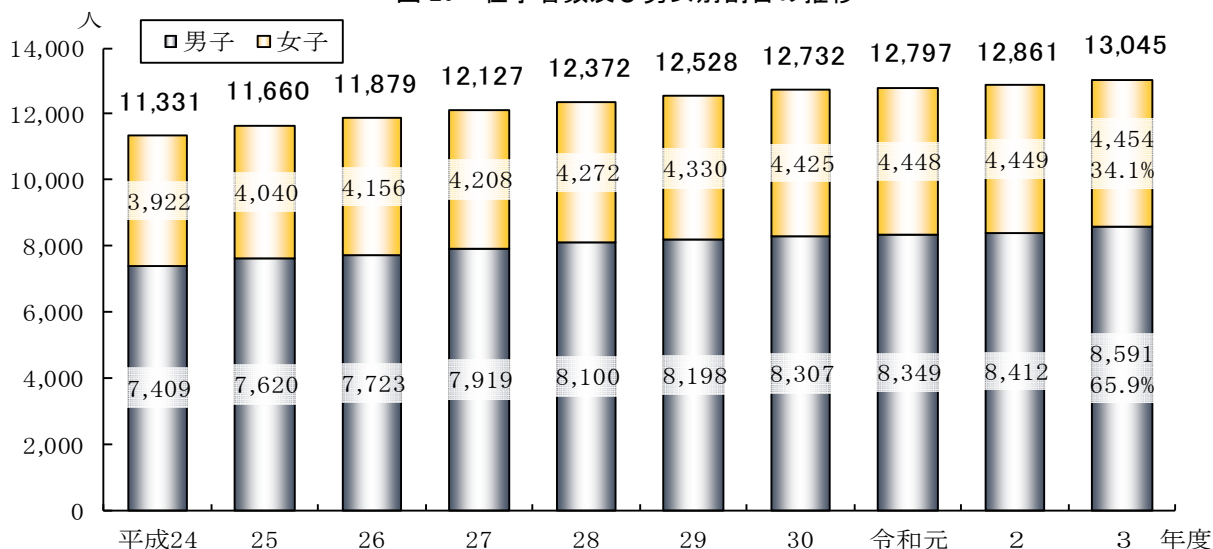
在学者数は13,045人で、前年度より184人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害230人、聴覚障害654人、肢体不自由2,055人（都立2,016人、区立39人）、知的障害9,901人（都立9,752人、区立149人）、病弱205人（都立158人、区立47人）となっている。

男女別で見ると、男子8,591人（構成比65.9%）、女子4,454人（構成比34.1%）で、前年度と比べて、男子の構成比が0.5ポイント増加、女子の構成比が0.5ポイント減少している。

（Ⅲ統計表 第31表）

図29 在学者数及び男女別割合の推移



(4) 教員数

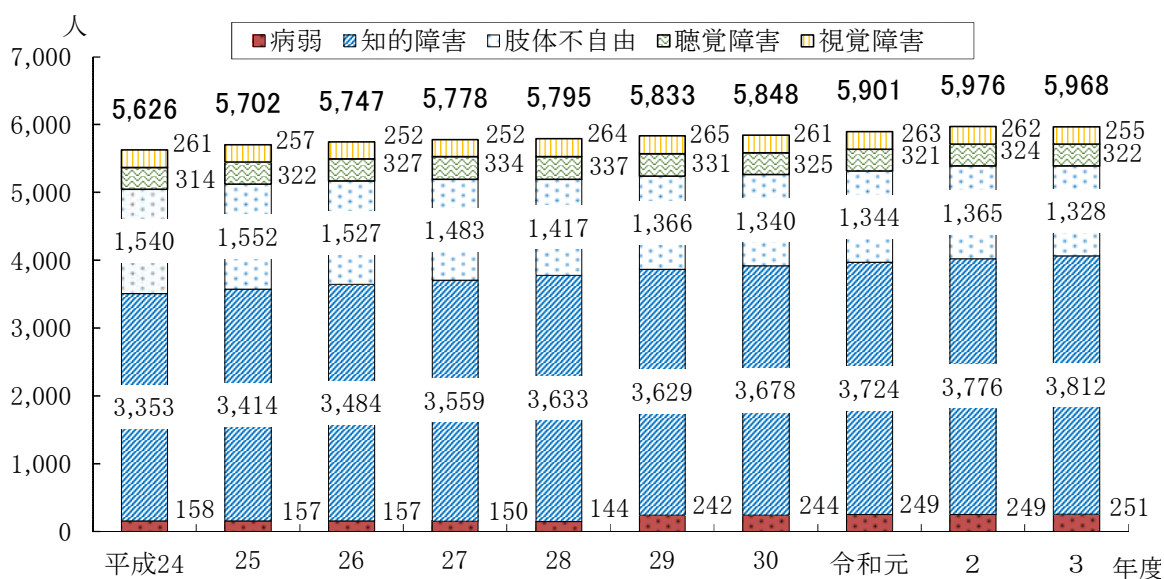
教員数は、5,968人で、前年度より8人減少している。

障害種別で見ると、視覚障害255人、聴覚障害322人、肢体不自由1,328人（都立1,295人、区立33人）、知的障害3,812人（都立3,746人、区立66人）、病弱251人（都立190人、区立61人）となっている。

男女別で見ると、男性2,320人（構成比38.9%）、女性3,648人（構成比61.1%）で、前年度と比べて、男性の構成比が0.6ポイント減少、女性の構成比が0.6ポイント増加している。

（Ⅲ統計表 第32表）

図30 教員数の推移



注) 教員数は、臨時的任用教員を含む。

(5) 職員数

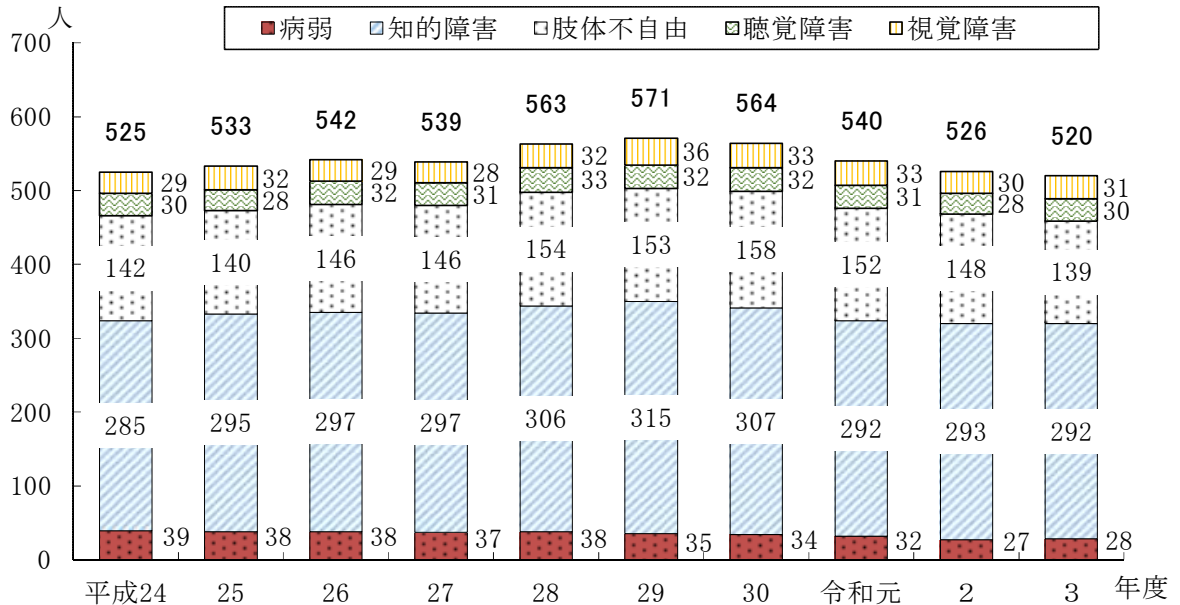
職員数は、520人で、前年度より6人減少している。

障害種別で見ると、視覚障害31人、聴覚障害30人、肢体不自由139人（都立133人、区立6人）、知的障害292人（都立283人、区立9人）、病弱28人（都立10人、区立18人）となっている。

男女別で見ると、男性238人（構成比45.8%）、女性282人（構成比54.2%）で、前年度と比べて、男性の構成比が1.2ポイント減少、女性の構成比が1.2ポイント増加している。

（Ⅲ統計表 第33表）

図31 職員数の推移



注) 職員数は、臨時的任用職員を含む。

図32 職員の職名別割合

